

四日市市長 井上 哲夫 様

海上アクセス建設関連工事汚職事件にかかわる申し入れ

2008年7月7日

四日市市議会・日本共産党市議団
日本共産党・北勢地区委員会

7月3日、四日市市発注の海上アクセスターミナル整備事業をめぐり、贈収賄事件が発覚し、当時の経営企画部参事と工事受注事業者が逮捕され、翌日、7月4日に四日市市役所が三重県警から家宅捜索を受けるという前代未聞の不祥事が発生したことは、市民に大きな衝撃と同時に、市行政に対する信用を大きく失墜させました。

同時に、贈賄側の事業者は、今春、本市と10年間の事業協定を締結しながら、わずか2年で事業破たんしたセラビイ観光汽船から航路譲渡をうけた海運事業者 YAL の代表役員であることは、海上アクセス事業そのものが今後立ち行かないことを示すものです。

今般6月定例議会に提出された 海上アクセス継続のための支援として燃料費補助等の補正予算については、私たち市議団は「継続ありきの補助金」であり、「現段階でさえ YAL の経営見通しがたたないところに補助金投入は認められない」と表明した次第です。本補正予算は、議会において減額修正のうえ賛成多数で可決されました。

しかし、汚職事件の容疑者が代表を務める YAL への補助金支出は到底市民の理解が得られるものでないことは共通の認識であろうと思います。

以上のような状況をふまえ、下記事項を申し入れます。

1. YAL に対する燃料費補助は中止すること
2. 贈収賄事件の発生背景にある法令遵守、公正・倫理の検証と対策をはかり内部けん制機能を確立すること。
3. 今回の事件に対する、責任の所在を明確にするとともに、市長自ら市民への説明、記者会見に臨むこと。